

群馬県立歴史博物館年報

第 46 号

令和 6 年度版

群馬県立歴史博物館

目 次

I	事業の概要	1
1	展示活動	1
2	教育普及	14
3	調査・研究	23
4	資料の収集・整理	27
5	利用状況	30
II	組織及び運営	38
1	運営組織	38
2	歳出・歳入決算概要	39

I 事業の概要

1 展示活動

(1) 常設展示

ア 国宝展示室

大 項 目	中 項 目	主な展示資料
綿貫観音山古墳の世界	墳丘に立ち並ぶ埴輪群像	埴輪（あぐら男子、正座女子、三人童女、皮袋女子、振分髪男子、鍬持ち男子、鎌持ち男子、盾持ち男子、馬曳き男子、馬、帽子、盾、家、鶏、円筒）
	東アジアの中の綿貫観音山古墳	突起付冑、銅水瓶
	巨大石室と豪華な副葬品	金銅鈴付大帯、金銀装頭椎大刀、銀錯龍文大刀、金銅心葉形透彫杏葉、金環、銀環、銀空玉、三累環頭大刀、矛身・石突、鉄鏃、挂甲小札、鉄籠手、鉄脛当、鉄胸当、金銅環状鏡板付轡、鑢轡、鉄地金銅張心葉形鏡板付轡、鉄轡、鉄地金銅張鞍金具、鉄壺鐙、鉄板張壺鐙、金銅歩揺付雲珠、金銅歩揺付辻金具、金銅歩揺付飾金具、金銅花卉形鈴付雲珠・辻金具、鉄雲珠、鉄辻金具、須恵器、土師器

イ 原始展示室

大 項 目	中 項 目	主な展示資料
遊動する旧石器人	歴史を塗り替えた大発見 —すべては岩宿遺跡から—	岩宿遺跡土層剥ぎ取り
	旧石器時代の風景 —凍てつく大地にオオツノジカを追う—	岩宿遺跡出土石器（複製、原品【国指定】）、石器（下舐牛伏遺跡・三和工業団地Ⅰ遺跡・上白井西伊熊遺跡【県指定】・東長岡戸井口遺跡・柏倉芳見沢遺跡・市之関前田遺跡・ハヶ入遺跡ほか）
	移動生活と石器づくり —狩人たちの必需品—	石器づくり（映像コンテンツ）、3万5千年前のムラ〔復元画〕、旧石器時代のムラ（映像コンテンツ）、石材サンプル（黒色安山岩、黒色頁岩、黒曜石、チャート、結晶片岩、大山産石英安山岩）
成熟する縄文社会	定住生活の始まりと土器文化 —スープの始まりは縄文土器から！？—	縄文土器（白井北中道遺跡【複製品】・波志江中屋敷遺跡・分郷八崎遺跡・中野谷松原遺跡・糸井宮前遺跡・三原田遺跡・矢太神沼遺跡・天神原遺跡・保美濃山遺跡・千網谷戸遺跡ほか）、有舌尖頭器（見立溜井遺跡ほか）、石斧（小島田八日市遺跡）、石鏃（八木沢清水遺跡ほか）、石匙・石錐（糸井宮前遺跡）、ハンバーグ状炭化物（行田大道北遺跡）、凹石・石皿（糸井宮前遺跡）、打製石斧（房谷戸遺跡）、磨製石斧（中村横壁遺跡）、黒曜石原石（糸井宮前遺跡）、ヒスイ大珠（白川傘松遺跡）、中野谷松原遺跡模型
	縄文人の祈り —命の再生を願って—	土偶（天神原遺跡・中栗須滝川Ⅱ遺跡）、獣面把手（上丹生屋敷山遺跡・神保植松遺跡）、土面（本遺跡）、岩版・独鈷石（中栗須滝川Ⅱ遺跡）、石棒（南蛇井増光寺遺跡）

縄文至宝の部屋		土製耳飾り（千網谷戸遺跡）、深鉢（房谷戸遺跡）、石槍（黒熊第5遺跡）、両尖尖頭器（黒井峯遺跡）、ヒスイ（硬玉）製大珠（高崎情報団地Ⅱ遺跡）、「の」の字状石製品（白石大御堂遺跡）、石製垂飾（大上遺跡）、岩版（北米岡遺跡）
農耕社会への道のり	再葬墓の時代 —弥生人は二度弔う—	弥生土器（押手遺跡・沖Ⅱ遺跡・上人見遺跡・神保植松遺跡・七日市観音前遺跡ほか）、人歯骨製垂飾（八束脛洞窟遺跡・有笠山2号洞窟遺跡）、石鍬（安養寺森西遺跡）
	稲作の開始とくらしの変化 —ついに始まる米づくり—	炭化米（有馬条里遺跡）、磨製石斧（南蛇井増光寺遺跡・新保遺跡）、石庖丁（荒砥宮川遺跡）、弥生土器（清里庚申塚遺跡・有馬遺跡）、木製農具（新保遺跡）、板状鉄斧（川端遺跡）、新保遺跡模型
	人が動き、時代が動く —西から人がやってきた—	鉄剣（有馬遺跡）、鹿角製柄頭（新保田中村前遺跡）、鉄鏃（有馬遺跡ほか）、石戈（古立東山遺跡）、銅戈（三ツ俣遺跡）、銅鏡（長谷津遺跡）、骨角歯牙製品（新保田中村前遺跡）、土器（貝沢柳町遺跡・中居町一丁目遺跡・新保遺跡・荒砥上ノ坊遺跡・東上之宮遺跡ほか）

ウ 古代展示室

大 項 目	中 項 目	主な展示資料
東国の開拓と古墳社会	大開発で始まる古墳時代 —浅間山噴火、そして古墳登場—	三角縁神獣鏡（川井稲荷山古墳）、舟形土製品（下田遺跡）、石田川式土器（石田川遺跡）、壺形土器（前橋天神山古墳）
	金井東裏遺跡 古墳人、よみがえる	榛名山噴火関連（映像コンテンツ）
	海を渡ってきた馬文化 —馬がもたらす「革命」—	韓式系土器（蔵屋敷遺跡）、鉄製轡（西大山遺跡1号古墳）、馬形土製品（高崎情報団地Ⅱ遺跡）同向式画文帯神獣鏡（古海原前1号古墳）
	馬を飼うムラの仕組み —榛名山噴火、日本のポンペイ—	黒井峯・西組遺跡復元模型
東国の政治と文字文化	古墳から寺院へ—上野国、ここに成立—	馬具・鉄製武器（川額軍原Ⅰ遺跡）、軒丸瓦・文字瓦「放光寺」〔複製〕（山王廃寺）、木簡〔複製〕（藤原宮跡）、唐三彩—陶枕（多田山12号墳）「古代上野国バーチャルツアー」（VRコンテンツ）
	石に刻まれた上野の姿 —文字を使って伝えたい—	上野三碑模型、山上多重塔模型、石製紡錘車（矢田遺跡）、鬼瓦（黒熊中西遺跡）文字瓦（上野国分寺跡）
	都と東北を結ぶ道 —古代のハイウェイ—	「東山道駅路と上野国」（映像コンテンツ）
	「平安」時代の「不安」 —傾きかけた社会—	上野国交替実録帳〔複製〕、「上野国交替実録帳の世界」（映像コンテンツ）

エ 中世展示室

大 項 目	中 項 目	主な展示資料
東国武士の原風景	武士団の登場 ー浅間山の大噴火をきっかけにー	耕作痕地層剥ぎ取り標本 耕作痕遺構面剥ぎ取り標本
	災害からの復興と信仰 ーピンチをチャンスにー	新田義重譲状〔複製〕、新田義重置文〔複製〕、虚空蔵菩薩懸仏、虚空蔵菩薩坐像、赤城大明神御本地、小鳥が島出土鏡、虚空蔵菩薩坐像（懸仏）
	石に込められた仏への願いー路傍に残る祈りの証ー	石造不動明王立像〔複製〕、五輪塔（水輪）未製品、五輪塔（火輪）半製品、宝篋印塔（相輪欠）、宝篋印塔、五輪塔、仁治の碑〔複製〕
	長楽寺の門前の宿、世良田 ーお寺の前は大にぎわいー	普光庵出土蔵骨器（古瀬戸瓶子）、伝新田義貞倚像、栄朝禅師倚像〔複製〕
大乱の始まり	新田氏から上杉氏へ ー武士の政権交代？ー	新田義貞と南北朝の動乱（シアター）、太平記絵巻〔複製〕、鎌倉府執事奉書（長楽寺文書）〔複製〕、鎌倉公方家寄進状（長楽寺文書）〔複製〕、長尾憲明寄進梵鐘、阿弥陀如来像（上染屋八幡神社蔵）複製、碁盤（伝上杉顕定所用）、釣り鐘型瓦灯、銅製花瓶、銅製火舎香炉
	人が動き、文化が広まる ー上州にもたらされた都の香ー	青磁碗、青磁小皿、白磁小皿、白磁八角杯、渥美蓮弁文壺、銭、古瀬戸瓶子（蔵骨器）、古芦屋霰窯、天目茶碗、青磁大皿、青白磁梅瓶
	中世の上州ブランド ー都も注目のお国自慢ー	小侍従書状〔複製〕、砥石、鉄黒漆塗六十二間小星兜、鉄黒漆塗六十二間小星兜、金箔押六十二間小星兜、鉄黒漆塗六十二間小星兜、戦国上州の兜（映像コンテンツ）、雪下胴具足
戦乱から統一へ	したたかな戦国の領主 ー地域の殿様の底力ー	関東幕注文〔複製〕、上杉謙信書状
	戦国の城とは？ ーこれでもお城と呼ばれますー	内耳鍋、中国産磁器片（青磁碗・白磁碗・青磁香炉）、国産陶器片（皿・壺・碗）、茶臼（上臼）、砥石、神保植松城模型
	ある老僧の手記 ー隣り合わせのいくさと日常ー	長楽寺永禄日記〔複製〕

オ 近世展示室

大 項 目	中 項 目	主な展示資料
泰平の世の始まり	江戸の北を守る上野国 ー家康にとっての重要拠点ー	井伊直政画像〔複製〕、金小札黒糸威具足、松平直賢黒印状
	江戸時代の農民のくらしとは？ ー田を増やせ 水を引けー	農耕図、上野国利根郡上川場村之内谷地組御検地水帳、高札（キリシタン訴人）、力田遺愛碑〔複製〕
躍動する民衆	都に負けない自慢のシルク ー日本一への道ー	蚕養育手鑑、猫絵、座繰り、関東市町定日案内、桐生書上家織物取引図、前橋藩糸商人仲真鑑札、蚕養草、書上清助像
	近世物流の一大拠点 ー陸運・水運“つながり”はここにあり！ー	中山道分間延絵図〔複製〕、中仙道御下向御休泊御本陣附、関所通行手形、旅枕、高瀬舟〔模型〕、利根川図志、倉賀野宿・河岸復元模型、水陸交通の十字路・上州〔映像〕
	祈りの旅・癒しの湯 ー何を求めて上野へ？ー	日本名山図会、上野国赤城山之図、諸国温泉功能鑑、伊香保温泉道中図

	華開く郷土文化 ー知りたい、学びたい、楽しみたいー	小八木人形、渋川往来、括要算法、毛翁法筆、算額
動揺する武家社会	天明の飢饉と火山災害 ーまたもや噴火 浅間山ー	上福島中町遺跡出土遺物、日本の諸特徴、浅間山吹出之絵図
	ついに開国 上野国やいかに！ ーあなたの知らない下仁田戦争ー	水戸天狗党絵巻 [複製]、一揆勘弁の木札、ガラス器

カ 近現代展示室

大 項 目	中 項 目	主な展示資料
群馬の文明開化	日本の産業革命 ー富岡に製糸場がー	富岡製糸場模型、富岡日記音声
	明治の大改革 ー群馬県誕生ー	吉井藩版籍奉還関係資料（複製）、群馬県治一覧表、修身説約
	養蚕技術は群馬から ー蚕を科学するー	養蚕日誌、第五回内国勸業博覧会名誉金牌授与状（養蚕改良高山社）、繭標本、蚕体模型、桑模型、蚕種模型
	蚕がつなぐ海の向こう ー群馬がみた世界、世界がみた群馬ー	IAPONIA REGNUM(日本国)、英国議会調査報告書、ドイツ製顕微鏡、続養蚕新論、版画「横浜各国商館真図」、版画「上野高崎間鉄道之図」
戦争とくらし	群馬の軍事施設 ー戦争の足音が聞こえるー	岩鼻火薬製造所関係資料（耐酸陶磁器、火薬箱、爆発事故一覧表、保育証）、中島飛行機関係資料（木製プロペラ、少年工員大募集ポスター、疾風模型）
	戦時下の生活 ーあれも、これも、勝つためにー	恤兵金献納箱、桑皮ズボン、紙芝居「銃後の子供達」、千人針、東京都集団疎開資料、アメリカ軍投下ビラ、戦時下の学校（映像コンテンツ）
新しい群馬の息吹き	戦後復興のシンボル ー群響と上毛かるたー	群馬交響楽団関係資料（コントラバス、馬乗ティンパニー、定期演奏会パンフレット）、上毛かるた関係資料（旧版一枚刷り、県大会優勝旗、上毛かるたと県内の絵葉書）、草創期の群響の移動音楽教室（映像コンテンツ）
	高度経済成長 ー便利な製品、変化するくらしー	スバル 360、スバル（映像コンテンツ）、三種の神器（白黒テレビ、電気洗濯機、電気洗濯機）、昭和のくらし（空間再現）、昭和 30～40 年代の群馬県内の映像（映像コンテンツ）
	いまを生きる時代へ ーみんなでつくる歴史（これから）ー	県内各地（高崎市・館林市・神流町・嬬恋村）の明治から平成までの変遷（映像コンテンツ）

キ デジタル埴輪展示室

大 項 目	中 項 目	主な展示資料
塚廻り古墳群の埴輪	儀礼に臨む侍女と侍従（前期）	坏を持つ女子（4 号墳）捧げ持つ男子（4 号墳）
	儀礼に臨む巫女（後期）	大刀を持つ女子（4 号墳）左手を挙げる女子（4 号墳）
	椅子に座る首長と女子（前期）	椅子に座る女子（3 号墳）椅子に座る男子（3 号墳）
	椅子に座る主人と跪く従者（後期）	椅子に座る男子（4 号墳）跪く男子（4 号墳）
	馬子と飾り馬（前期・後期）	左手を挙げる男子（4 号墳）飾り馬（4 号墳）
	霊魂を守る弓矢と盾（前期）	盾（3 号墳）靱（1 号墳）
	玉飾りをつけた大刀（後期）	大刀（4 号墳）

(2)企画展示・特別展示

ア 春の特別収蔵品展「だるまさん大集合」

(ア) 期間 令和6年4月20日(土)～6月16日(日)〔開催日数51日〕

(イ) 会場 群馬県立歴史博物館 企画展示室

(ウ) 趣旨

群馬県高崎市は全国一のだるまの生産地である。眉は鶴、ひげは亀と縁起の良い二つの動物を顔に表現した高崎だるまは、家内安全・商売繁盛をはじめ、私たちの願いを叶えてくれる縁起物として江戸時代から親しまれてきた。だるまは養蚕が盛んな地域では、特徴である起き上がりが蚕の成長に通じるといって養蚕のお守りとなったり、赤色が疫病を除けたりするなど、人々の生活の深く関わってきた。

本展示会では、館蔵資料より、伝統的な高崎だるまの制作工程をはじめ、全国各地のだるまを紹介する。そして、だるまが持つ様々な生活文化に触れる機会とする。

(エ) 展示構成と主な展示資料

i. だるまの姿

関牧翁 紙本墨画「達磨図」

ii. 高崎だるまができるまで

だるま木型、だるまセメント型、だるま製作工程一式、まき俵、張り子だるま用角籠

iii. 全国のだるま

松川だるま、白河だるま、川越だるま、パンダだるま、三角だるま、松山姫だるま、他、全国各地のだるま

iv. 赤の力

ほうそう送りの馬、鴻巣の赤物玩具、ほうこさん

v. 暮らしの中のだるま

版画「養蚕大當」、版画「亀舁屋店頭図」

神棚・道祖神焼きなど生活の中のだるまを写真パネルで紹介

(オ) 資料点数 111件 200点

(カ) 頒布品・出版物等

パンフレット：A5判4頁 無償配布

(キ) 関連行事

・講演会

日時：5月12日(日) 13:30～15:00

講師：林 直輝 氏(日本人形文化研究所所長・全日本だるま研究会副会長)

演題：「だるまさんの歴史と魅力」

・ギャラリートーク

日時：4月27日(土)、5月19日(日) 14時30分～(30分程度)

担当：武藤 直美(当館学芸員)

(ク) 入館状況

観覧者数 10,255人 一日平均 201人

イ 第110回企画展「日本開国と群馬の生糸―鉄道・蒸気船・電信―」

(ア) 期間 令和6年7月13日(土)～9月1日(日)〔開催日数45日〕

(イ) 会場 群馬県立歴史博物館 企画展示室

(ウ) 趣旨

幕末の開国と同時に多くの西欧技術が日本にもたらされた。日本からは蚕種（蚕の卵）や生糸が諸外国に輸出されていく。生糸の有力な生産地であった群馬県には政府が西洋技術を導入した模範工場として富岡製糸場をつくった。また、日本に持ち込まれた鉄道や蒸気船、電信という西欧技術は生糸生産地としての群馬にももたらされ、地域もまた近代化を遂げていった。

本展覧会では、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録10周年を記念して、西欧技術の導入期の日本の姿を主要な生糸生産地群馬の近代化という視点で見えていく。

(エ) 展示構成と主な展示資料

序章

(1) 蚕と繭

蚕模型、繭、生糸、養蚕秘録、蚕養育手鑑、女織蚕手業草など

(2) 日本での展開

上州座繰り、奥州座繰り（福島県伊達市教育委員会蔵）、紙本淡彩上州境町糸市下絵など

第1章 生糸貿易のはじまり

(1) 横浜開港

ペリー提督日本遠征記、蒸気船下画、サスケハナ号模型、米艦渡来記念ノ図（いずれも横浜開港資料館蔵）、ペリーの機関車と客車の復元模型（鉄道博物館蔵）、伝樋畑翁輔画ペリー献上電信機実験当時の写生画、エンボッシング・モールス電信機（ペリー将来/米国製）【国重文】（いずれも郵政博物館蔵）

(2) 上州の商人たち

中居屋重兵衛肖像画、横浜各国商館真図、神名川横浜新開港図、吉村屋幸兵衛が米国視察の際購入したガラスとランプ（個人蔵）、再刻横浜明細全図（伊勢崎市図書館蔵）など

(3) 宮中養蚕

出がら繭、出がら繭の記、新刻蚕養之図、養蚕天覧之図、宮中養蚕之図（いずれも個人蔵）、養蚕新論、続養蚕新論、英国議会調査報告書

第2章 蚕糸業の発展

(1) 富岡製糸場の誕生

富岡製糸場関係錦絵、東京築地舶来ぜんまい大仕かけきぬ糸を取る図（個人蔵）、富岡日記複製、春日蝶書簡（個人蔵）、フランス式繰糸機複製、富岡製糸場繰糸関係出土遺物（富岡市教育委員会蔵）

(2) 改良座繰り

碓氷社生糸商標、明治末頃の碓氷社の復元模型、甘楽社事蹟梗概、甘楽社絵葉書、国内の生糸商標

(3) 養蚕方法の改良

高山本家屋敷絹絵図、高山社蚕業学校模型、養蚕画解（いずれも藤岡市教育委員会蔵）、高山社スライド写真、第5回内国勸業博覧会の名誉金牌授与状〔養蚕改良高山社〕

第3章 生糸の道

(1) 水上のシルクロード

利根川図志、利根川全図、高瀬舟模型、高瀬舟イカリ・滑車・セミ、東京横浜往返蒸気弘明船招帖（横浜開港資料館蔵）

(2) 陸蒸気の登場

レール、レール締結装置、1号機関車模型（いずれも鉄道博物館蔵）、東京汐留鉄道蒸気車通行図、鉄道路線図（郵政博物館蔵）

(3) 鉄路と生糸

東京高崎汽車往還之図、日本鉄道会社で使用されたレール、(いずれも鉄道博物館蔵)、
犬釘、鉄道特許条約書日本鉄道会社定款、ブレッグ指字電信機【国重文】(郵政博物館蔵)

終章 生糸生産地の変容

東北汽車旅行振分双六、鉄道時間表、営業案内他荒船風穴関係資料(下仁田町歴史館蔵)
世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」のガイダンス映像(群馬県立世界遺産センター)、
横浜から高崎・前橋までの鉄道模型(横浜・新橋・上野・熊谷・深谷・高崎・前橋等の
画像、一号機関車模型、善光号模型)

(オ) 資料点数 約 200 点

(カ) 頒布品・出版物等

図録：A4 判 173 頁 有償配布(税込 1,500 円)

リーフレット：A5 判 4 頁 無償配布

(キ) 関連行事

・連続講演会(全 5 回)

第 1 回 7 月 13 日(土) 講師：横浜開港資料館 西川武臣館長

演題：「田島弥平と横浜での蚕種貿易」

第 2 回 7 月 20 日(土) 講師：藤岡市教育委員会 軽部達也文化財統括官

演題：「高山社の養蚕改良」

第 3 回 7 月 27 日(土) 講師：群馬県立世界遺産センター 中島秀規研究員

演題：「荒船風穴と養蚕多回数化」

第 4 回 8 月 3 日(土) 講師：当館 佐藤有学芸員

演題：「日本開国と群馬の生糸-鉄道・蒸気船・電信-」

第 5 回 8 月 24 日(土) 講師：当館 右島和夫特別館長

演題：「考古学から見た絹の歴史」

・イベント

ミニ SL ゲージにのろう！ 令和 6 年 8 月 10 日(土)・11 日(日)

(ク) 入館状況

観覧者数 8,145 人 一日平均 181 人

ウ 第 111 回企画展「弥生人は二度死ぬ一再葬墓ってなに？」

(ア) 期間 令和 6 年 10 月 5 日(土)～11 月 24 日(日)〔開催日数 44 日〕

(イ) 会場 群馬県立歴史博物館 企画展示室

(ウ) 趣旨

群馬県は弥生時代の再葬墓の中心地の一つである。再葬墓は遺体を一度土中に埋めたり、さらしたりして白骨化させてから土器に納め、再び埋葬することでつくられた墓のことである。

本展覧会では、初めに西日本を代表する吉野ヶ里遺跡出土品と東日本の再葬墓出土品を紹介する。再葬墓研究のきっかけとなった岩櫃山鷹の巣岩陰遺跡(群馬県東吾妻町)から出土した土器が里帰りをする。また、沖縄地方では洗骨葬というよく似た葬法が近年までおこなわれていたが、沖縄以外で初公開となる写真と厨子甕(骨蔵器)で洗骨を紹介する。近年の研究を通じ、なぜ弥生人が二度死ぬのかを探る。

(エ) 展示構成と主な展示資料

プロローグ【象徴展示】九州の赤色磨研土器群 vs 再葬墓土器群

赤色磨研土器(吉野ヶ里遺跡)、大型壺(沖Ⅱ遺跡)、顔壺(女方遺跡)土偶形容器(湊ノ上遺跡)

【問いかけ】九州の祖先祭祀と再葬墓の祖先祭祀の違い

甕棺（藤崎遺跡）、イモガイ製貝輪・前漢鏡（吉野ヶ里遺跡）

第1章 弥生時代の再葬システムとその意義

剥片石器（上人見遺跡、沖Ⅱ遺跡）、穿孔人歯骨（八束脛洞窟遺跡、有笠山2号洞窟、根古屋遺跡）、壺におさめられた人骨と壺（岩名天神前遺跡、横間栗遺跡、牡丹平遺跡）、焼人骨（各部位・一括）（根古屋遺跡）、破碎管玉・磨製石斧・独鈷石（宮崎遺跡）、完形管玉・勾玉・独鈷石（宮崎遺跡）、軽石製玉・貝製垂飾（有笠山2号洞窟）、管玉・貝輪・貝製玉（八束脛洞窟遺跡）

〔再葬の系譜〕

小型壺形土器・石剣・焼人骨（中村中平遺跡）、甕・壺形土器（万木沢B遺跡、川原湯勝沼遺跡）、土偶（万木沢B遺跡）

第2章 岩櫃山に登った弥生人

土器（岩櫃山鷹の巣岩陰遺跡）

第3章 各地の再葬墓と人々の暮らし

第1節 群馬の再葬墓（遺跡ごとに出土品を展示）

南大塚遺跡（渋川市）、押手遺跡（渋川市）、上ノ久保遺跡（高崎市）、沖Ⅱ遺跡（藤岡市）、上人見遺跡（安中市）、中里原遺跡（富岡市）、大胡金丸遺跡（前橋市）、金井下新田遺跡（渋川市）

〔洞窟の墓地利用〕

幕岩岩陰遺跡、只川橋下岩陰遺跡、三笠山岩陰遺跡

第2節 周辺地域の再葬墓（遺跡ごとに出土品を展示）

鳥内遺跡・墓料遺跡（福島県）、女方遺跡（茨城県）、岩名天神前遺跡（千葉県）、出流原遺跡（栃木県）

〔国重文〕人面付土器（泉坂下遺跡）

第3節 再葬を担った人々とその暮らし

中野谷原遺跡出土土器・石器

第4節 再葬墓、その後

有馬遺跡出土人形土器・土器・鉄剣・鉄釧・銅釧・ガラス小玉・勾玉

第4章 沖縄の洗骨葬

厨子甕2点

【パネル】亀甲墓・洞穴墓・壁龕墓などの写真、沖縄市園田の洗骨写真

エピソード ご先祖さまと弥生人と私たち

（オ）資料点数 382点

（カ）頒布品・出版物等

図録：A4判159頁 有償配布（税込1,600円）

リーフレット：A5判4頁 無償配布

（キ）関連行事

① 特別講演会

日時：10月14日（月・祝）14：00～15：30

講師：新谷尚紀氏（国立歴史民俗博物館名誉教授・国立総合研究大学院大学名誉教授）

演題：「南西諸島の洗骨改葬と本土の改葬」

② 講演会（全5回）

〔第1回〕

日時：10月19日（土）13：30～15：00

講師：関根史比古氏（安中市みりよく創出部文化財課主事）

演題：「洞窟遺跡と再葬墓」

講師：齋藤直樹 氏（藤岡市教育委員会文化財保護課主任）

演題：「沖Ⅱ遺跡とその調査」

〔第2回〕

日時：10月26日（土）13：30～15：00

講師：武末純一 氏（福岡大学名誉教授、福岡県春日市奴国の丘歴史資料館名誉館長）

演題：「弥生時代のお墓からわかること―北部九州―」

〔第3回〕

日時：11月3日（日）13：30～15：00

講師：設楽博己 氏（東京大学名誉教授）

演題：「弥生再葬墓とはなにか―展示タイトル「弥生人は二度死ぬ」の解説を兼ねて―」

〔第4回〕

日時：11月10日（日）13：30～15：00

講師：大木紳一郎 氏（公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団専門調査役）

演題：「墓制交代劇の背景」

〔第5回〕

日時：11月16日（土）13：30～15：00

講師：右島和夫（当館特別館長）

演題：「弥生・古墳時代の葬制を比較する」

③ 映画「洗骨」上映会

日時：11月4日（月・振休） 1回目：10：00～12：00 2回目：13：30～15：30

④ ギャラリートーク（4回）

日時：10月6日（日）、10月20日（日）、11月10日（日）、11月24日（日）

各回 14：30～15：00

担当：石田典子（当館学芸員）

（ク）入館状況

観覧者数 12,498 人 一日平均 284 人

エ 新春特別収蔵品展「日本美術史ことはじめ」（オと併催）

（ア）期間 令和6年12月21日（土）～令和7年2月9日（日）〔開催日数 39 日〕

（イ）会場 群馬県立歴史博物館 企画展示室

（ウ）趣旨

当館では美術工芸部門に多くの絵画資料を有するが、該当部門のみならず他部門に所蔵されている資料を美術史的な視点で研究することで、新たな発見や活用方法が考えられる。

美術史とは絵画や彫刻のみを対象とする研究分野ではなく、時代や分野を越えてその形式変遷や造形なども射程に捉えた学問である。今までと視点を変えた展示を実施することで、館蔵資料の魅力を存分に引き出し、県有財産の活用を図りたい。

（エ）展示構成と主な展示資料

第1章 美しいって、何だろう

- ・岩版（縄文時代、当館蔵）
- ・上野千綱谷戸遺跡出土品（縄文時代、桐生市蔵、当館寄託）
- ・注口土器（縄文時代、個人蔵、当館寄託）
- ・山王廃寺出土緑釉陶器一括資料（10世紀、当館蔵）

第2章 形さまざま・色とりどり

- ・聖観音像 複製（原資料は鎌倉時代・正法寺蔵、複製は当館蔵）
- ・阿弥陀来迎図（室町時代、当館蔵）
- ・酒飯論絵巻（江戸時代、当館蔵）
- ・太刀 銘 長光（鎌倉時代後期、当館蔵）

第3章 歴史が詰まっている

- ・岸浪百草居《牡丹図》（大正期、当館蔵）
- ・小室翠雲《竹林図屏風》（大正14年、当館蔵）
- ・伊東深水《奥利根宝川春景図》（昭和15年、当館蔵）
- ・棟方志功《美魅寿玖之鳥万祥群図》（昭和45年、公益財団法人中曽根康弘世界平和研究所蔵、当館寄託）

（オ）資料点数 38件77点

（カ）ギャラリートーク（4回）

日時：12月21日（土）、1月12日（日）、1月25日（土）、2月2日（日）

各回14:30～15:00

担当：江原幸太郎（当館学芸員）

（キ）入館状況

観覧者数7,268人 一日平均186人

オ 子どものための特集展示「昭和のくらし」（エと併催）

（ア）期間 令和6年12月21日（土）～令和7年2月9日（日）〔開催日数39日〕

（イ）会場 群馬県立歴史博物館 企画展示室

（ウ）趣旨

当館所蔵の昭和時代を中心とする生活道具を展示し、あわせて当時の生活の場を一部再現することで、時代とともに変化してきたくらしの様子を紹介した。子どもたちの祖父母世代や親世代が実際に使用していた生活道具を展示し、また道具の思い出を付箋に書いて紹介するコーナーを設けることで、昭和のくらしを家族や友人と語り合う交流の場とした。

小学校3・4年生の社会科学習内容「市の様子と人々のくらしのうつりかわり」に基づく学習プログラム「むかしの道具体験」を学校団体向けに実施した。

（エ）展示構成と主な展示資料

【蚊帳の間】

蚊帳、布団、行李ほか

【昭和30年代の茶の間】

こたつ、茶箆筥、真空管ラジオ、鏡台、黒電話、足踏みミシン、レトロ風テレビほか

【昭和50年代の応接間】

テーブル、ソファ、サイドボード、カラーテレビ、ステレオ、マガジンラックほか

【洗濯の道具】

井戸、手回し洗濯機、ローラー式洗濯機、二槽式洗濯機ほか

【炊飯の道具】

かまど、お釜、おひつ、電気釜、保温ジャー、電気炊飯器ほか

【あの日、あの時、あの思い出】

黒電話、携帯電話、フィルムカメラ、インスタントカメラ、携帯音楽プレーヤーほか

【昭和初期に使われた道具】

火鉢、あんか、こて、火のし、炭火アイロン、氷冷蔵庫、くけ台、針箱ほか

【昭和 20 年代～30 年代に使われた道具】

かいまき、豆炭あんか、電気アイロン、蠅帳、白黒テレビ、電気冷蔵庫（1 ドア）ほか

【昭和 40 年代～50 年代に使われた道具】

ガスストーブ、電気あんか、蛍光灯、レコードプレーヤー、電気冷蔵庫（2 ドア）ほか

【昭和 60 年代から平成に使われた道具】

ポータブルテレビ、ワープロ、パソコン、データレコーダーほか

【昭和～平成のおもちゃコーナー】

ゲーム機、人形、ボードゲームほか

（オ）資料点数 約 120 点

（カ）頒布品・出版物等

リーフレット：A4 判 4 頁 無償配布

（キ）入館状況

観覧者数 7,268 人 一日平均 186 人

(3)展示解説

ア 解説員解説

解説員による定時解説は、原則毎日実施した（イベント等により開催しない場合もあった）。内容は、平日の午前は国宝「綿貫観音山古墳出土品」の解説、午後は常設展示室の通覧解説、土日祝日は午前・午後とも常設展示室の通覧解説を行った。いずれの解説も視聴覚室のスクリーンに画像を投影して解説した。

団体向けの予約解説も同様に、国宝「綿貫観音山古墳出土品」の解説又は通覧解説を視聴覚室のスクリーンに画像を投影して行った。

イ 学芸員解説

春の特別収蔵品展、第 111 回企画展、新春特別収蔵品展において、学芸員によるギャラリートークを企画展示室で行った。また、常設展示解説として、各展示室担当学芸員による展示解説を 5 回行った。

解説実施件数と人数

	定時解説		予約解説		学芸員解説		計		質問解説
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数
4 月	34	264	1	20	1	10	36	294	13
5 月	25	230	0	0	1	20	26	250	17
6 月	16	112	0	0	1	18	17	130	15
7 月	20	106	2	37	0	0	22	143	8
8 月	42	433	0	0	1	14	43	447	27
9 月	22	195	0	0	0	0	22	195	4
10 月	19	280	1	10	3	94	23	384	55
11 月	15	275	0	0	3	121	18	396	31
12 月	11	106	0	0	1	15	12	121	10
1 月	30	293	2	63	4	70	36	426	11
2 月	8	112	0	0	1	26	9	138	12
3 月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	242	2,406	6	130	16	388	264	2,924	203

*定時解説は、1 日 2 回（午前 11 時～、午後 2 時～）20 分程度行う常設展示解説。

*予約解説は、団体等の事前申込による解説希望に対して解説員が行う常設展示解説。

*学芸員解説は、学芸員が行う常設展示解説及び企画展示解説（ギャラリートーク）。

*質問解説は、解説員が観覧者の質問に答えたり、説明したりするもの。

ウ 展示資料 Q&A

特別展及び企画展においては、解説員が手書きで作成した「展示資料 Q&A」を展示資料の前に設置し、来館者が自由に持ち帰ることができるようにした。

展示資料 Q&A 配布枚数

VOL.	春の特別収蔵品展	第 110 回企画展	第 111 回企画展	新春特別収蔵品展 子どものための特集展示
1		1,565	2,911	1,034
2	2,467	1,383	2,892	1,254
3	2,083	1,423	3,354	1,220
4	1,981	1,382	3,024	985
5	2,114	1,290	3,029	1,472
計	8,645	7,043	15,210	5,965

2 教育普及

(1) 学校教育との連携

「自分とみんなのウェルビーイングが重なり合い、高め合う共生社会に向けて ～ひとりひとりがエージェンシーを発揮し、自ら学びをつくり、行動し続ける「自律した学習者」の育成～」
(令和6年度群馬県学校教育の指針)を基本目標とする学校に対して、次のとおり事業を実施し、学校教育との連携強化に努めた。

ア 学校団体の利用促進のための広報活動

県内小・中・特別支援学校および県外小学校等に学校向け利用案内パンフレットを配布し、歴史博物館の利用を呼びかけた。

イ 学校向け学習・体験プログラムの実施

(ア) 歴史を楽しむためのワークブック・ワークシートの活用

国宝展示室を見学する小学校高学年向けに「はにわ・古墳探検」、常設展示室を見学する小学校中学年向けに「れきしたんけん」の2種類のワークブックを作成し、職員・解説員がわかりやすく説明した。

また、常設展示室を見学する小学校高学年・中学生向けに3種類のワークシートを作成し、展示資料の理解と歴史学習の一助とした。

(イ) 「むかしの道具調べ」の実施

学習室及び企画展示室で、「むかしの道具カード」を用いた調べ学習を実施した。

(ウ) 「浮世絵多色刷り」の実施

学習室で、群馬の宿場町を描いた浮世絵多色刷りの体験学習を実施した。

(エ) 「くらしと明かり」の実施

視聴覚室で、あんどん・石油ランプ・白熱灯の明るさを再現して比べる体験学習を実施した。

(オ) 「火おこし体験」の実施

中庭で、火のおこしを通じて、人と火との歴史について学ぶ体験学習を実施した。

ウ 職場体験の生徒受入れ

学校見学の補助、受付業務、土器洗浄等の機会を提供した。

エ 近代美術館との連携

隣接する近代美術館の展示見学とローテーションを組んで、両館を利用できるようにした。

オ 小学校への指導者派遣「出張！浮世絵体験」の実施

小学校6年生向けに、浮世絵多色刷り体験を通して歴史を学べるプログラムを用意し、21校に指導者を派遣した。

カ オンライン授業への協力

来館できない学校とウェブ会議ツールを活用して、25校にオンライン授業を提供した。また、群馬県総合教育センターが実施している「つなぐんオンラインサポート（通称：つなサポ）」と連携し、県内の不登校児童生徒に対して、3Dメタバース上で展示室を案内するなど学習の場を提供した。

キ 学校等来館利用実績

区分	県内		県外		計	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数
幼稚園・保育園	1	14	1	29	2	43
小学校	65	3,577	29	2,178	94	5,755
中学校	1	3	2	37	3	40
高等学校・大学等	1	22	5	85	6	107
計	68	3,616	37	2,329	105	5,945

(2)セミナー

ア 企画展等に伴う講演会

・春の特別収蔵品展「だるまさん大集合」

種類	演題等	講師	期日	参加者数
講演会	だるまさんの歴史と魅力	林直輝 氏(日本人形文化研究所所長・全日本だるま研究会副会長)	5月12日(日)	56人

・第110回企画展「日本開国と群馬の生糸―鉄道・蒸気船・電信―」

種類	演題等	講師	期日	参加者数
講演会①	田島弥平と横浜での蚕種貿易	西川武臣 氏(横浜開港資料館館長)	7月13日(土)	58人
講演会②	高山社の養蚕改良	軽部達也 氏(藤岡市教育委員会文化財統括官)	7月20日(土)	25人
講演会③	荒船風穴と養蚕多回数化	中島秀規 氏(群馬県立世界遺産センター研究員)	7月27日(土)	36人
講演会④	日本開国と群馬の生糸―鉄道・蒸気船・電信―	佐藤有(当館学芸員)	8月3日(土)	87人
講演会⑤	考古学から見た絹の歴史	右島和夫(当館特別館長)	8月24日(土)	61人

・第111回企画展「弥生人は二度死ぬ―再埋葬ってなに?―」

種類	演題等	講師	期日	参加者数
特別講演会	南西諸島の洗骨改葬と本土の改葬	新谷尚紀 氏(国立歴史民俗博物館名誉教授・国立総合研究大学院大学名誉教授)	10月14日(月・祝)	125人

講演会①	洞窟遺跡と再葬墓 沖Ⅱ遺跡とその調査	関根史比古 氏(安中市文化財課主事) 齋藤直樹 氏(藤岡市教育委員会文化財保護課主任)	10月19日(土)	70人
講演会②	弥生時代のお墓からわかることー北部九州ー	武末純一 氏(福岡大学名誉教授・福岡県春日市奴国の丘歴史資料館名誉館長)	10月26日(土)	59人
講演会③	弥生再葬墓とはなにかー展示タイトル「弥生人は二度死ぬ」の解説を兼ねてー	設楽博己 氏(東京大学名誉教授)	11月3日(日)	111人
講演会④	墓制交代劇の背景	大木紳一郎 氏(公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団専門調査役)	11月10日(日)	70人
講演会⑤	弥生・古墳時代の葬制を比較する	右島和夫(当館特別館長)	11月16日(土)	75人

・新春特別収蔵品展「日本美術史ことはじめ」

種類	演題等	講師	日付	参加者数
講演会①	絵巻物って楽しい！当館蔵《酒飯論絵巻》の魅力	江原幸太郎(当館学芸員)	12月22日(日)	44人
講演会②	高塚古墳と武人埴輪	右島和夫(当館特別館長)	2月1日(土)	77人

・日曜講座

種類	演題等	講師	日付	参加者数
講演会①	仁徳天皇陵はどこまでわかったか	徳田誠志 氏(関西大学客員教授)	1月19日(日)	104人
講演会②	古代中国の王墓	菊地大樹 氏(中国蘭州大学教授)	2月1日(土)	77人

・木曜講座

種類	演題等	講師	日付	参加者数
講演会①	上杉謙信	築瀬大輔 氏(群馬県立女子大学教授)	7月25日(木)	86人
講演会②	由良成繁	藤田慧 氏(群馬県職員)	8月22日(木)	79人
講演会③	長野方業	新保稔 氏(國學院大學大学院特別研究生)	9月12日(木)	73人

(3)ワークショップ

ア 体験プログラムの目的

- ・自らの体を動かし、五感を通して挑戦したり製作したりすることで、より深い達成感や感動を味わい、生きる力を育成する。
- ・過去の人間の生き方や願い、生活の知恵に根ざした伝統的な風習を体験的に学ぶことで、祖先への畏敬と親近感を深め、歴史や民俗に対する興味・関心を高める。
- ・参加体験型の学習形態により、体験者と職員・家族等とのコミュニケーションを通して、主体的に楽しく学習できる博物館を目指す。
- ・展示に関連した情報を提供することにより、体系的・共通体験的に来館者の展示に関する理解を深める。

イ 体験プログラム等の形態と実施場所

個人の来館者に対応した体験（れきはくワークショップ等）……学習室

ウ 体験プログラム等の内容と体験者数

【れきはくワークショップ】 1日6回（1回30分程度）定員入替制

（①10：00、②10：45、③11：30、④13：00、⑤13：45、⑥14：30）

プログラム名・実施日	内容・ねらい	体験者数
古墳ちゃんバンド 4/6～4/14の土・日	古墳に関連した古墳ちゃんバンド作りを通して、古墳が作られた経緯や現在の様子、独特な形などに着目したり、埴輪の種類などを紹介したりして、群馬の古墳や埴輪への興味・関心を高める。	98人
ゆらゆらだるま 4/20～5/19の土・日・祝日	春の特別収蔵品展「だるまさん大集合」の展示資料であるだるまに関連して、ゆらゆらだるま作りを行うことで、高崎だるまを始めとした全国各地のだるまへ興味・関心を高める。	916人
プラ板だるまマーカー 5/25～6/30の土・日	春の特別収蔵品展「だるまさん大集合」の展示資料であるだるまに関連して、プラ板だるまマーカー作りを行うことで、高崎だるまを始めとした全国各地のだるまへ興味・関心を高める。	673人
猫絵輪ゴムホルダー 7/13～15 7/20～8/4の開館日毎日	第110回企画展「日本開国と群馬の生糸」の展示資料である猫絵に関連して、猫絵輪ゴムホルダー作りを行うことで、群馬県の養蚕の歴史や文化、人々のかかわりへの興味・関心を高める。	727人
錦絵風鉄道スタンプファイル 8/6～8/18の開館日毎日	第110回企画展「日本開国と群馬の生糸」の展示資料である錦絵に関連して、錦絵に描かれた人物や背景に着目しながらワークショップを体験することで、明治時代の鉄道や当時の群馬県の様子への興味・関心を高める。	857人
まゆ玉ストラップ 8/20～9/1の開館日毎日	第110回企画展「日本開国と群馬の生糸」の展示資料である繭を使用した工作を行うことで、群馬県の養蚕の歴史や文化、人々のかかわりへの興味・関心を高める。	714人

くるくるはにわモバイル 9/7～9/29 の土・日・祝日	埴輪や古墳に関連した、くるくるはにわモバイル作りを通して、埴輪の種類などを紹介したり、埴輪が置かれていた古墳の独特な形などに着目したりすることで、群馬の埴輪や古墳への興味・関心を高める。	317 人
ドキ土器スタンプしおり 10/5～10/27 の土・日・祝日	第 111 回企画展「弥生人は二度死ぬ」の展示資料（弥生土器）や常設展示室の展示資料（縄文土器）に注目し、ドキ土器スタンプしおり作りを行うことで、土器の特徴的な文様や形へ興味・関心を高める。	369 人
カラフル勾玉ネックレス 11/2～11/24 の土・日・祝日	第 111 回企画展「弥生人は二度死ぬ」の展示資料で勾玉に関連して、カラフル勾玉ネックレス作りを行うことで、原始から古代の群馬地域の様子や当時の文化への興味・関心を高める。	800 人
ミニたこ 12/21～1/5 の開館日毎日	新春特別収蔵品展「日本美術史ことはじめ」や子どものための特集展示「昭和のくらし」に関連して、昔懐かしい凧を実際に作って遊ぶことで、当時の人々のくらしや遊び、文化への興味・関心を高める。	651 人
レトロ柄ストローとんぼ 1/11～2/9 の土・日・祝日	子どものための特集展示「昭和のくらし」に関連して、昔懐かしいレトロ柄の竹とんぼをストローを使用して作ることで、当時の人々のくらしや遊び、文化への興味・関心を高める。	920 人

【れきはくワークショップ+】 15 時 30 分～16 時 30 分

プログラム名・実施日	内容・ねらい	体験者数
おどるはにわ作り 7/27、28 8/2、3、4、24、25、31	夏休み期間中に、小学生を対象としたおどるはにわ作りを行うことで、群馬の埴輪への興味関心を高める。	138 人

個人対象体験学習 実施人数合計	7180 人
-----------------	--------

社会教育団体等に対応した出前体験（申し込みに応じて随時実施）

プログラム名・実施日	内容・ねらい	体験者数
高崎市国府公民館への出前体験 講座（浮世絵多色刷り体験） 2/22	体験プログラムを希望する社会教育団体に随時対応。木曾街道六拾九次「高崎」の浮世絵多色刷り体験を主とした浮世絵の体験講座を実施し、江戸時代の優れた文化遺産について理解を深める。	15 人

団体対象体験学習 実施人数合計	1 団体 15 人
-----------------	-----------

エ 指導者

職員の他、一般県民から募集した『体験学習ボランティア』の協力により実施している。

(4) イベント

ア イベントの目的

- ・新規利用者の獲得
- ・企画展等の関連行事
- ・入館者の満足度向上
- ・利用者のニーズへの対応
- ・記念行事や周年行事
- ・地域との連携
- ・博物館の広報宣伝

イ 館内イベントの内容と参加者数

イベント名・日数	内容	参加者数
夏のれきはくクイズラリー 「発見！生糸とぐんま」 42 日間	第 110 回企画展「日本開国と群馬の生糸―鉄道・蒸気船・電信―」の展示資料について、クイズを解きながら鑑賞するクイズラリーを実施。チラシ裏面の塗り絵を持参するイベントも同時開催。	5,858 人
こどもセミナー 2 日間	一之宮古墳群および貫先神社について、現地で講師の話を聞いたり関連施設を見学したりする。	43 人
高校生ワークショップ 2 日間	高校生を対象に、考古学と歴史学の視点から歴史にアプローチする方法を紹介。	22 人
群馬県民の日限定イベント 「いずみちゃんスタンプしおり作り」 1 日間	第 111 回企画展「弥生人は二度死ぬ」の展示資料「泉坂下遺跡の人面付き土器」をモチーフとしたスタンプを押すしおり作りを実施。	671 人
冬のれきはくクイズラリー 「美しいもの・昭和のくらしたんけん」 20 日間	新春特別収蔵品展「日本美術史ことはじめ」及び子どもたちのための特集展示「昭和のくらし」の展示資料について、クイズを解きながら鑑賞するクイズラリーを実施。チラシ裏面の塗り絵を持参するイベントも同時開催。	4,411 人

ウ 館外イベントの内容と参加者数

館外イベントは実施しなかった。

(5) ボランティア

歴史博物館ボランティアは、次の活動に従事している。

- ・体験学習ボランティア…体験学習の学習者に対する支援、指導、準備

ア 概要

ボランティアは令和 7 年 3 月末現在、73 名が登録している。土・日曜日、祝日の活動が中心で、歴史や社会貢献、社会的有用労働に興味を持っている人の参加が多い。年齢は 16 歳から 81 歳の方（平均年齢 43 歳）が活動している。

年代別に見ると、中高年の参加者が全体のおよそ 1/3 であり、退職後に社会のために何か役立ちたいという理由でボランティア活動を始めた方が多い。残る 2/3 は高校生、大学生の参加者である。今年度は特に高校生や大学生の参加者の増加が顕著であった。また、平日の学校団体向けの体験学習においても、ボランティア活動に積極的に取り組んでいた。

ボランティアの居住地域は、当館から 1 時間程度の市町村（高崎市・前橋市・藤岡市・伊勢崎市・玉村町）が多いが、一部は東毛地区や県外から長時間かけて参加するボランティアもいた。

イ 年間の活動人数

今年度は延べ 339 名のボランティアが活動した。一般向けワークショップと学校団体向け体験学習の支援として、活動（4 月～3 月）している。

ウ 研修会の実施

一般向けワークショップ支援を円滑に進めるために、ボランティア参加の初日に新しい内容になるたびに研修的参加をお願いした。

エ その他

- ・ボランティアには館から食費・交通費の支給はない。
- ・ボランティアへの連絡のため、月一回程度、「れきはくボランティアだより」を発行し、裏面には「ボランティア活動予定表」を記載した。

(6) 広報活動

ア ちらし配布

県内各小・中・義務教育・中等教育・特別支援・高等学校、県内教育機関、県内行政機関、県内文化会館、県内各市町村公民館、県内外博物館、県内図書館、県内報道機関、県内観光施設等

イ 歴史博物館カレンダー配布

県内各小・中・義務教育・中等教育・特別支援・高等学校、県内教育機関、県内行政機関、県内文化会館、県内各市町村公民館、県内外博物館、県内図書館、県内報道機関、県内観光施設等

ウ 県メディアプロモーション課関係広報

ぐんま広報、グラフぐんま、ぐんま情報トッピング、県公式アカウント SNS 等

エ 県内報道機関への PR

上毛新聞本社、読売新聞前橋支局、朝日新聞社前橋総局、毎日新聞社前橋支局、産経新聞前橋支局、東京新聞前橋支局、日本経済新聞社前橋支局、上毛新聞ぱれっと編集室、上毛新聞タカタイ編集室、朝日ぐんま、群馬よみうり、日本放送協会前橋放送局（出演を含む）、群馬テレビ（出演を含む）、エフエム群馬（出演を含む）、ラジオ高崎（出演を含む）等

オ 広報誌掲載

タウン情報誌、月刊情報誌、歴史関連雑誌等

カ 企画展図録配布

県内教育機関、県内各市町村教育委員会、県内外博物館、県内図書館、国関係機関等

キ 紀要配布

県内教育機関、県内各市町村教育委員会、県内外博物館、県内図書館、国関係機関等

ク 年報をホームページに掲載

年報を当館ホームページに PDF ファイルで掲載

ケ 学校団体利用促進広報

県内小・中・義務教育・中等教育・特別支援学校、県内教育機関、県内各市町村教育委員会、
県外（埼玉、東京、栃木等）小学校への利用案内の配布

県外の教育委員会の実地踏査の受け入れ

出前授業・オンライン授業の案内ちらしの配布

コ ホームページの充実

企画展の紹介や資料一覧・資料画像等、掲載情報の充実

イベントや休館日を確認できる開館カレンダーの掲載

SNS（Facebook・X 等）の更新

サ 群馬の森来園者に対する広報の充実

公園入口へのポスター掲示

(7)刊行物の発行

	名 称	規格・頁数	部数
書籍	第 110 回企画展「日本開国と群馬の生糸―鉄道・蒸気船・電信―」図録	A4 173 頁	1,200
	第 111 回企画展「弥生人は二度死ぬ―再埋葬ってなに?―」図録	A4 159 頁	1,200
	紀要第 46 号	A4 84 頁	400
	年報第 45 号	A4 44 頁	50
パンフ レット 類	群馬県立歴史博物館カレンダー(2025-2026)	A4 巻き三つ折り	30,000
	第 110 回企画展「日本開国と群馬の生糸―鉄道・蒸気船・電信―」リーフレット	A4 二つ折り	10,000
	第 111 回企画展「弥生人は二度死ぬ―再埋葬ってなに?―」リーフレット	A4 二つ折り	10,000
	ist vol.21 新春特別収蔵品展「日本美術史ことはじめ」	A4 二つ折り	5,000
	子どものための特集展示「昭和のくらし」リーフレット	A3 二つ折り	3,000
	ist vol.22 春の特別収蔵品展「いまさらですが…博物館資料の見かた・楽しみかた～ついでにハニワも大放出!～」	A4 二つ折り	5,000
	令和 7 年度学校向け利用案内	A3 二つ折り	6,000
	学校団体向け展示見学ワークブック「れきしたんけん」	B5 8 頁	4,000
	学校団体向け展示見学ワークブック「はにわ・古墳探検」	B5 8 頁	4,000
	チャレンジれきはくワークシート A・B・C	B5 8 頁	各 3,000
ちらし	第 110 回企画展「日本開国と群馬の生糸―鉄道・蒸気船・電信―」ちらし	A4	25,000
	第 111 回企画展「弥生人は二度死ぬ―再埋葬ってなに?―」ちらし	A4	27,000
	新春特別収蔵品展「日本美術史ことはじめ」・子どものための特集展示「昭和のくらし」ちらし	A4	25,000
	春の特別収蔵品展「いまさらですが…博物館資料の見かた・楽しみかた～ついでにハニワも大放出!～」ちらし	A4	25,000
	「夏のれきはく 発見!生糸とぐんま」ちらし	B5	94,000
	「冬のれきはく 美しいもの・昭和のくらしたんけん」ちらし	B5	94,000
ポスター	第 110 回企画展「日本開国と群馬の生糸―鉄道・蒸気船・電信―」ポスター	B2	1,900
	第 111 回企画展「弥生人は二度死ぬ―再埋葬ってなに?―」ポスター	B2	1,900
	新春特別収蔵品展「日本美術史ことはじめ」・子どものための特集展示「昭和のくらし」ポスター	B2	1,900
	春の特別収蔵品展「いまさらですが…博物館資料の見かた・楽しみかた～ついでにハニワも大放出!～」ポスター	B2	1,900

3 調査・研究

(1) 資料調査

ア 趣旨

群馬の歴史や文化を考える上で、有益な各種資料の調査を「令和6年度群馬県立歴史博物館資料調査員の設置並びに資料調査実施要領」に基づいて実施した。

(ア) 資料調査の目的

博物館内外の資料調査や調査研究あるいは展示手法や教育プログラムの閲覧等を行い、博物館活動の充実を図る。

(イ) 資料調査員

資料調査員は、研究者及び有識者の中から委嘱する。

資料調査員は、考古・歴史・美術工芸・民俗の各部門について適任者を選定する。

委嘱の期間は、令和6年7月1日から令和7年3月31日までとする。

イ 調査テーマ一覧

No	分野	調査テーマ	調査員	担当職員
1	考古	藺田芳雄関係資料の基礎的調査	関根 史比古 (1)	石田 典子
2	考古	尾崎喜左雄博士収集考古資料の基礎的調査	深澤敦仁 (2) 迫田睦生 (3) 松澤樹生 (4)	飯田 浩光
3	民俗	都丸十九一資料の基礎的調査	井坂 優斗 (5) 伊藤 克枝 (6) 瀧澤 典枝 (7) 永島 政彦 (8)	武藤 直美

- (1) 安中市みりよく創出部文化財課、(2) 群馬県地域創生部文化財保護課、
(3) (4) (公財) 群馬県埋蔵文化財調査事業団、(5) 館林市市史編纂センター、
(6) 富岡市教育委員会、(7) 岩宿博物館、(8) 群馬県立高崎高等学校

(2) 各調査研究部門

ア 考古部門

イ 歴史部門

ウ 民俗部門

エ 美術工芸部門

オ 教育普及部門

いずれの部門も各職員が資料調査及び調査研究を行った。

(3) 紀要

『群馬県立歴史博物館紀要第 46 号』を刊行した。A4 判 84 頁で内容は下表のとおりである。

『群馬県立歴史博物館紀要第 46 号』執筆稿一覧

NO	執筆者	表題	種別		
1	右島 和夫・ 深澤 敦仁	尾崎喜左雄博士の群馬県地域における古墳研究(2)―写真記録からうかがう榛東村高塚古墳の発掘調査の詳細―	和文 横書	36 頁	論文
2	武藤 直美	新たに県指定・登録された民俗文化財―群馬の養蚕・製糸用具、上毛かるた―	和文 横書	8 頁	資料紹介
3	江原 幸太郎	読みたいと思わせる展示パネル製作―文化観光施設としての博物館展示―	和文 横書	16 頁	研究ノート
4	佐藤 有	世界文化遺産と博物館展示―地域資料の描く世界―	和文 横書	10 頁	論文
5	石田 典子	展覧会の可能性と評価―「弥生人は二度死ぬ」展を考える―	和文 横書	14 頁	報告

(4)企画展プロジェクト委員会

ア 第111回企画展

(ア) プロジェクト委員等

設楽 博己 氏（東京大学名誉教授）

大木紳一郎 氏（公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団専門調査役）

関根史比古 氏（安中市みりょく創出部文化財課主事）

齋藤 直樹 氏（藤岡市教育委員会文化財保護課主任）

右島 和夫・石田典子・飯田浩光（当館）

(イ) 委員会の開催

今年度は全体検討会を1回開催し、展示構成及び展示資料の選定、レイアウト、関連行事等について検討を行った。

第1回

日 時：令和6年5月17日（金）13：30～16：30

会 場：群馬県立歴史博物館 会議室

議 題：展示資料・レイアウトの修正確認、ポスター・チラシデザイン案の検討、
展示パネルの検討、図録の検討、関連行事の確認

(5)社会貢献

ア 博物館実習の受入

期 間：令和6年8月27日（火）～9月6日（金）

※8月31日～9月2日を除く8日間実施した

内 容：博物館の業務と目的を理解するために必要な事項

学芸員の仕事への理解を深める事項

その他、博物館に関する事項

実習生数：12名

イ 高校生インターンシップの受入

期間	校名	人数	主な活動内容
10月31日（木）、11月1日（金）	太田市立太田高校	1名	博物館の概要および教育普及係・学芸係の業務についての説明、体験的講座（古文書や写真資料の整理作業、広報作業、ワークショップ等）、展示室・バックヤード見学、職員へのインタビュー、高校生から歴博への提案プレゼン
11月15日（金）	高崎北高校	2名	
12月3日（火）、4日（水）	高崎商業高校	1名	
12月11日（水）、12日（木）	高崎東高校	4名	
3月11日（火）	尾瀬高校	1名	

ウ 講演会等への派遣

No.	職員名	期日	内容		場所		参加者数
			事業名	タイトル	会場	所在地	
1	飯田浩光	令和6年6月6日(木)	出前なんでも講座	古墳大国・群馬について	邑楽町第2区公民館	邑楽郡邑楽町	17
2	飯田浩光	令和6年7月10日(水)	東国文化自由研究に関連した出前授業	すごいぞ!ぐんまの古墳時代	太田市立太田中学校	太田市	104
3	武藤直美	令和6年9月19日(木)	中之条町きらめき講座	群馬のまつりーふるさとの民俗文化財ー	バイテック文化ホール	吾妻郡中之条町	50
4	飯田浩光	令和6年9月19日(木)	中之条町きらめき講座	古墳大国・群馬について	バイテック文化ホール	吾妻郡中之条町	50
5	飯田浩光	令和6年10月22日(火)	令和6年度研修講座「小・中学校初任者研修・社会」	実はすごい群馬の古代	総合教育センター	伊勢崎市	14
6	飯田浩光	令和6年11月25日(月)	明寿大学講座	実はすごい群馬の古墳時代	前橋市中央公民館	前橋市	250
7	関口俊邦	令和6年12月1日(日)	出前なんでも講座	大泉町の近代	大泉町図書館	大泉町	30
8	飯田浩光	令和7年1月24日(木)	出前なんでも講座	古墳大国・群馬について、国宝はにわの魅力	群馬県立歴史博物館	高崎市	15
9	関口俊邦	令和7年3月7日(金)	県立高崎商業高校 歴史総合	フィールドワーク	高崎市内	同左	200
	品田里和						
	江原幸太郎						
10	江原幸太郎	令和7年3月20日(木)	華の会 講演会	蔦屋重三郎と浮世絵版画	伊勢崎市内	伊勢崎市	80

4 資料の収集・整理

(1) 資料整理

ア 考古部門

資料の整理については、収蔵品管理システムで画像の追加、重複及び不足データの修正作業を行った。併せて収蔵資料の整理を行った。

イ 歴史部門

資料の収集については、個人から2件の資料を受け入れ、整理し、目録の作成を行った。

ウ 民俗部門

令和元年度末に受け入れを行った都丸九十九資料の整理を進めた。

エ 美術工芸部門

収蔵資料の配架整理及び台帳との整合確認を実施した。

(2) 保存管理

資料整理及び管理は、各研究室・収蔵庫・展示室ごとに行われるが、共通事項として保存環境の整備・資料の修復があり、以下の事業を行った。

ア 保存環境の整備

- ・収蔵庫・展示室の温湿度調整・記録（機械自動管理及びデータロガーによる）
- ・環境モニタリングシステムサーバPCの更新
- ・虫歯害防止対策として、収蔵庫・展示環境の測定（飛来虫などを館職員で捕獲し記録）や清掃、整理整頓等の日常管理
- ・資料燻蒸（企画展に伴い、燻蒸庫にて資料燻蒸を4回実施した。）

イ 資料の修復及び保存修理

- ・刀剣資料約100振りと鉄砲資料約85挺の手入れを各1回実施した。
- ・歴史部門において、コントラバスの修復を実施した。

ウ 公開承認施設の承認

令和7年3月に公開承認施設の承認申請を行い、3月25日付で公開承認施設（考古資料限定）に承認された。

(3) 収集資料

本年度の収集資料は、寄贈資料48点、購入資料0点、移管資料0点、採集資料99点で、合計147点。総計102,575点となる。

ア 令和6年度所蔵資料集計

部 門	自 然	考 古	歴 史	美術工芸	民 俗	教育普及	合 計
	件 点	件 点	件 点	件 点	件 点	件 点	件 点
寄贈資料	0－0	0－0	2－21	10－10	14－17	0－0	26－48
購入資料	0－0	0－0	0－0	0－0	0－0	0－0	0－0
移管資料	0－0	0－0	0－0	0－0	0－0	0－0	0－0
採集資料	0－0	0－0	0－0	0－0	8－99	0－0	8－99
令和6年度	0－0	0－0	2－21	10－10	22－116	0－0	34－147
総 計	129	32,892	46,412	2,668	19,344	1,130	102,575

イ 寄贈資料 26件48点

No.		部門	資料名称	点数	寄贈者	住所
1	贈 24-1	歴史	山田郡只上村関連古文書 (基礎調査資料を含む)	9	個人2名	東京都葛飾・千代田区
2	贈 24-2	歴史	工員手帳及び写真	12	個人	埼玉県児玉郡
3	贈 24-3	美工	太刀 銘 家次	1	個人	茨城県日立市
4	贈 24-4	美工	刀 銘 肥州住 藤原国勝	1	個人	高崎市
	贈 24-4	美工	脇指 銘 会津若松住 友四郎	1		
	贈 24-4	美工	脇指 無銘	1		
5	贈 24-5	美工	磯部草丘《鷹図》	1	個人	東京都練馬区
	贈 24-5	美工	松本宏洞《竹図》	1		
	贈 24-5	美工	松本宏洞《書》	1		
	贈 24-5	美工	金井烏洲《平江獨吟》	1		
	贈 24-5	美工	金井烏洲《水亭避暑》	1		
	贈 24-5	美工	小室翠雲《松樹図》	1		
6	贈 24-6	民俗	庚申さま掛け軸	1	地区	前橋市
	贈 24-6	民俗	庚申さま膳椀	1 式		
7	贈 24-7	民俗	行器	1	個人	高崎市
	贈 24-7	民俗	炭火アイロン	1		
8	贈 24-8	民俗	猿の頭	1	個人	長野県松本市
9	贈 24-9	民俗	御殿飾り	1 式	個人	富岡市
	贈 24-9	民俗	香奠受納帳	1	個人	富岡市
	贈 24-9	民俗	結納目録	1	個人	富岡市
	贈 24-9	民俗	御祝儀帳	1	個人	富岡市
	贈 24-9	民俗	御初着帳	1	個人	富岡市
	贈 24-9	民俗	誕生祝控	1	個人	富岡市
	贈 24-9	民俗	葬儀買物帳	1	個人	富岡市
	贈 24-9	民俗	御見舞控	1	個人	富岡市
10	贈 24-10	民俗	トネマブシ	4 組	個人	吾妻郡中之条町

ウ 購入資料 0 件

エ 移管資料 0 件

オ 採集資料 8 件 99 点

No.		部門	資料名称	点数	由来地
1	採 24-1	民俗	チガヤアミ	1	伊勢崎市
	採 24-1	民俗	糸網 シジアミ	1	伊勢崎市
	採 24-1	民俗	糸網 タケアミ	1	伊勢崎市
	採 24-1	民俗	桑ブルーイ	4	伊勢崎市
	採 24-1	民俗	繭標本	8	前橋市
	採 24-1	民俗	桑の葉標本	60	前橋市
	採 24-1	民俗	養蚕守護札	23	県内各地
	採 24-1	民俗	マブシ編機	1	伊勢崎市

5 利用状況

(1)利用者数

ア 月別利用者数

月 (開館日数)		4 月 (26)	5 月 (27)	6 月 (26)	7 月 (16)	8 月 (28)	9 月 (21)	10 月 (23)	11 月 (22)	12 月 (17)	1 月 (24)	2 月 (8)	3 月 (0)	計 (238)
観 覧 者	一 般	2, 238	3, 849	2, 508	1, 895	4, 086	1, 586	5, 215	4, 415	1, 639	2, 836	1, 253	0	31, 520
	高・大学生	295	228	142	81	257	126	164	152	55	124	52	0	1, 676
	小・中学生	439	1, 424	2, 065	603	1, 460	1, 031	1, 400	1, 493	398	982	352	0	11, 647
	幼 年 者	145	231	167	151	242	109	212	215	128	238	94	0	1, 932
	身 障 者	142	287	195	126	233	88	172	259	96	156	66	0	1, 820
	小 計	3, 259	6, 019	5, 077	2, 856	6, 278	2, 940	7, 163	6, 534	2, 316	4, 336	1, 817	0	48, 595
教育普及事業参加者		945	3, 633	5, 187	3, 475	7, 078	3, 110	3, 796	4, 582	2, 185	4, 228	2, 318	0	40, 537
計		4, 204	9, 652	10, 264	6, 331	13, 356	6, 050	10, 959	11, 116	4, 501	8, 564	4, 135	0	89, 132
累 計		4, 204	13, 856	24, 120	30, 451	43, 807	49, 857	60, 816	71, 932	76, 433	84, 997	89, 132	89, 132	

※ 展示室設備改修のため臨時休館（令和7年2月10日～3月31日）

イ 教育普及事業参加者内訳(個人・団体)

月 (開館日数)	4月 (26)	5月 (27)	6月 (26)	7月 (16)	8月 (28)	9月 (21)	10月 (23)	11月 (22)	12月 (17)	1月 (24)	2月 (8)	3月 (0)	計 (238)
行事参加者	945	1,138	647	2,829	7,078	911	1,704	1,625	1,727	3,684	1,573	0	23,861
学校団体行事参加者	0	2,495	4,540	646	0	2,199	2,092	2,957	458	544	745	0	16,676
計	945	3,633	5,187	3,475	7,078	3,110	3,796	4,582	2,185	4,228	2,318	0	40,537
累 計	945	4,578	9,765	13,240	20,318	23,428	27,224	31,806	33,991	38,219	40,537	40,537	

※出張浮世絵授業、オンライン授業の参加者は、行事参加者に含まれている。

ウ 学校団体等行事参加者内訳(複数のプログラムに参加の学校もあり)

月 (開館日数)		4月 (26)	5月 (27)	6月 (26)	7月 (16)	8月 (28)	9月 (21)	10月 (23)	11月 (22)	12月 (17)	1月 (24)	2月 (8)	3月 (0)	計 (238)
体験学習	浮世絵多色刷り	0	460	1,236	66	0	485	199	368	0	123	0	0	2,937
	火おこし体験	0	377	177	0	0	0	0	15	0	0	0	0	569
	昔の道具体験	0	0	168	0	0	275	432	756	0	115	83	0	1,829
	その他	0	0	2	514	0	0	0	156	458	6	517	0	1,653
展示学習	れきしたんけん	0	0	168	0	0	303	557	791	0	86	62	0	1,967
	はにわ・古墳探検	0	708	941	66	0	250	199	169	0	0	0	0	2,333
	くらしと明かり	0	0	234	0	0	217	317	591	0	29	83	0	1,471
展示見学		0	950	1,614	0	0	669	388	111	0	185	0	0	3,917
計		0	2,495	4,540	646	0	2,199	2,092	2,957	458	544	745	0	16,676
累 計		0	2,495	7,035	7,681	7,681	9,880	11,972	14,929	15,387	15,931	16,676	16,676	

エ 団体利用者数

月 (開館日数)		4月 (26)	5月 (27)	6月 (26)	7月 (16)	8月 (28)	9月 (21)	10月 (23)	11月 (22)	12月 (17)	1月 (24)	2月 (8)	3月 (0)	計 (238)
一般	団体数	2	1	2		1	1	3	3					13
	人数	228	20	57		42	23	71	69					510
高・大生	団体数			1			2	3						6
	人数			22			51	34						107
中学	団体数			1	2									3
	人数			3	37									40
小学	団体数		12	13	2		10	16	16		8	2		79
	人数		950	1,752	58		784	829	1,030		269	83		5,755
幼年	団体数		1					1						2
	人数		14					29						43
身障	団体数	1	2	1	2	13	1	2			2	2		26
	人数	14	20	9	43	187	5	10			22	31		341
社教等	団体数		1	1	1	4			3		1			11
	人数		13	21	78	30			27		20			189
計	団体数	3	17	19	7	18	14	25	22	0	11	4	0	140
	人数	242	1,017	1,864	216	259	863	973	1,126	0	311	114	0	6,985
招待者		84	210	164	102	328	43	2,163	349	95	219	186	0	3,943

オ 館外開催学校団体等行事参加者数

月 (団体数)	4月 (-)	5月 (-)	6月 (-)	7月 (-)	8月 (-)	9月 (-)	10月 (-)	11月 (7)	12月 (18)	1月 (1)	2月 (2)	3月 (-)	計 (28)
出張！ 浮世絵体験								156	458	6	36		656

カ 観覧者数

展覧会	開催期間（日数）	有料観覧者	無料観覧者	合計
春の特別収蔵品展「だるまさん大集合」	4/20 ～ 6/16 (51)	5,086	5,169	10,255
第110回企画展「日本開国と群馬の生糸―鉄道・蒸気船・電信―」	7/13 ～ 9/1 (45)	3,957	4,188	8,145
第111回企画展「弥生人は二度死ぬ―再埋葬ってなに？―	10/5～11/24 (44)	5,622	6,876	12,498
新春特別収蔵品展「日本美術史ことはじめ」 子どものための特集展示「昭和のくらし」	12/21 ～ 2/9 (39)	4,033	3,228	7,261
常設展	開館日全て (238)	7,248	3,188	10,436
計		25,946	22,649	48,595

(2)資料の特別観覧

下記の資料 29 件について特別観覧の申請があり承認した。

No.	資料名称	考古	歴史	美工	民俗	その他
1	高山社蚕業学校関係資料 42 点		42			
2	園田芳雄資料 一式 (30 箱)	30				
3	島霞谷 鮎、頭蓋骨、同名資料			3		
4	綿貫観音山古墳出土品、塚廻り 4 号墳	7				
5	上衣と裳を着けた女子、袈裟状の衣を着けて椅子に坐る女子	2				
6	上毛かるた関連資料				197	
7	碓氷郡原市村絵図		4			
8	旧細野村資料		1			
9	子持勾玉 (0253-01 A028-01)	2				
10	長楽寺文書		43			
11	連山進空式 16 ミリフィルム		1			
12	群馬大学尾崎喜左雄先生資料の内山ノ上西古墳関係資料一式	1				
13	上州伊香保温泉場全景		2			
14	腰巻遺跡出土磨製石斧	7				
15	岩澤正作収集資料 (保渡田八幡塚古墳採集資料) ほか	257				
16	剣崎天神山古墳出土石製模造品及び埴遺跡出土石製模造品及び未製品	86				
17	東矢島廃寺 瓦	9				
18	馬乗ティンパニー		1			
19	中居屋重兵衛肖像画			1		
20	下佐野遺跡出土石製品	6				
21	綿貫不動山古墳 1960 年代調査時撮影写真及び出土鉄製品 (鋤先)	2				
22	園田芳雄資料 一式	1				
23	長谷寺縁起絵巻 (複製)			1		
24	藤岡市中栗栖出土 銅印「延別縁印」	1				
25	ヤベオオツノジカ全身骨格	1				
26	上野国前橋敷島ヶ原万代橋之景			1		
27	松平信興坐像			1		
28	ブルーノタウト資料 (デッサン資料 66、工芸品他 11) 計 77 点			77		
29	千網谷戸遺跡 (56 点)、大上遺跡 (1 点)、白川傘松遺跡 (1 点)	58				
計		470	94	84	197	0

(3)資料の借用許可

下記の資料 100 件について借用許可の申請があり承認した。

No.	資料名称	考古		歴史		美工		民俗		その他		計	
		実物	写真	実物	写真	実物	写真	実物	写真	実物	写真	実物	写真
1	綿貫観音山古墳出土 家形埴輪 画像データ 2 件		2										2
2	伝酒井忠清坐像（画像）1 点				1								1
3	多胡碑（複製）画像 1 点				1								1
4	塚廻り古墳群出土馬形埴輪 1 点 綿貫観音山古墳馬形埴輪 1 点 雷電神社跡古墳人が乗る馬形埴輪 1 点、剛志天神山鶏形埴輪 1 点		4										4
5	塚廻り 4 号墳出土歩く男子埴輪画像、埴輪笠を被り鋏を担いだ農夫画像		2										2
6	天文 17 年 2 月 22 日付け村上義清書状（小林家文書）画像				1								1
7	御下向之図 地			1								1	
8	石山南古墳（赤堀村 120 号墳）出土 盛装女子埴輪 1 点・馬形埴輪 1 点	2										2	
9	浅間焼吾妻川利根川泥押絵図				1								1
10	綿貫観音山古墳出土品 写真		1										1
11	連山進空式 映像データ				1								1
12	綿貫観音山古墳出土品 写真（三人童女）		1										1
13	高山社蚕業学校授業風景写真（ガラス乾板写真）S8-177-51				1								1
14	盛装する女子埴輪、馬形埴輪（石山南古墳赤堀村 120 号墳）		2										2
15	跪坐の男子埴輪画像（正面、後ろ、足元などの画像 塚廻り 4 号墳出土）、綿貫観音山古墳出土品（NHK が過去放送した映像）		4										4
16	連山進空式 映像データ				1								1
17	03 日本書紀（写真）、71 御賄帳の開いたカット				2								2
18	連山進空式 映像データ				1								1
19	古墳人の男性・女性の復顔像		2										2
20	高山社蚕業学校授業風景写真 12 点				12								12
21	鶏形埴輪（伊勢崎市剛志天神山古墳出土）		1										1
22	建武二年九月二十七日足利尊氏袖判下文				1								1
23	幕府開成所内部（写真 島霞谷撮影）				1								1
24	「浅間山焼吾妻川利根川泥押絵図」				1								1
25	桐生天満宮本社幣殿拝殿裏の図 写真データ						1						1
26	綿貫観音山古墳出土品 円筒埴輪 1 点、形象埴輪 1 点		2										2
27	伝単（宣伝ビラ）複製品 1 点 ただし表裏で 1 点ずつ				1								1
28	浅間焼吾妻川利根川泥押絵図 1 点						1						1
29	ある日の海軍航空機工場 映像データ				1								1
30	富岡製糸場工女勉強之図（大正 15 年再販）						1						1
31	家形埴輪 1 点、三人童女（正面・背面）2 点、挂甲武人 1 点、		4										4
32	①金銅鈴付大帯、②振り分け髪男子、③椅子に坐る女子、④埴輪群像、⑤金銅心葉形杏葉、金銅花弁形鈴付雲珠、金銅歩揺付雲珠、銅水瓶		5										5
33	資料 挂甲小札 25 点（国宝登録番号 508、509、510、514、529、531、534、539、548、549、550、552、553、556、558、559、560、562、563、565、575、577、588、609、615）鉄冑 1 点（国宝登録番号 504）、鉄胸当 1 点（国宝登録番号 747） 写真 遺構写真 3 点 鉄冑 3 点 胸当 1 点 小札 4 点 集合写真 2 点	27	13									27	13
34	草津温泉時間湯（其二）						1						1
35	胡坐を組み合掌する男子、両手を腰にあてる振り分け髪の男子、帽子形埴輪、金銅鈴付大帯、跪坐の男子、椅座の女子、左手を挙げる女子、家形埴輪		8										8
36	埴輪左手を挙げる男子と飾り馬が 1 カットになっている写真		1										1
37	「空中探訪 第 3 回 古墳の上空から見える風景」映像		1										1
38	綿貫観音山古墳出土埴輪及び塚廻り古墳群出土埴輪		17										17
39	岩澤正作収集資料		60										60
40	コウモリをさす島隆像						1						1
41	甲を着た古墳人の甲及び冑の復元品一式	1										1	
42	人物埴輪（上衣と裳を着けた女子 複製）1 点 人物埴輪（袈裟状の衣を着けて椅子に坐る女子 複製）1 点	2										2	
43	原始集落のイラスト画像		1										1
44	島霞谷「バラと扇子を持つ女性像」島榮一氏蔵						1						
45	島霞谷「鮎」1 点、「頭蓋骨標本写真」2 点 島榮一氏蔵					3	3					3	3
46	金銅心葉形杏葉、金銅花弁形鈴付雲珠、金銅歩揺付雲珠、飾金具、銅水瓶、突起付冑、心葉形鏡板付簪		7										7
47	三人童女埴輪 裏面		1										1

No.	資料名称	考古		歴史		美工		民俗		その他		計	
		実物	写真	実物	写真	実物	写真	実物	写真	実物	写真	実物	写真
48	・甲冑をまとった武人 1 点 ・突起付冑 1 点 ・椅子に座るお琴 1 点 ・ひざまづく男 1 点 ・振り分け髪の子 1 点 ・太刀を持つ巫女 1 点 ・椅子に座り杯を捧げる巫女 1 点 ・三人童女 1 点 ・鶏形埴輪 1 点 ・綿貫観音山古墳の出土品 1 点 ・綿貫観音山古墳の儀礼をする埴輪群像 2 点 ・綿貫観音山古墳の復元模型 1 点 ・武装した人が乗る馬埴輪 1 点 ・博物館の展示室 1 点 ・外観の写真 1 点		14								2		16
49	山王廃寺跡出土 軒丸瓦		1										1
50	埴輪 鶏	1	1									1	1
51	埴輪 椅子に座る女子 (3 号墳)		1										1
52	胡坐を組み合掌する男子、三人童女、正坐し祭具を捧げる巫女、皮袋を捧げる巫女、両手を腰にあてる振り分け髪の子、甲冑をまとった武人、盾持ち人、馬子と飾り馬、金銅鈴付大帯、空からみた綿貫観音山古墳		10										10
53	新田温純画猫絵、新田徳純画猫絵、新田道純画猫絵、新田俊純画猫絵、皇国養蚕図絵						5						5
54	みなかみ町八束脛洞窟出土首飾り装着状況		1										
55	群馬大学による本郷埴輪窯跡の発掘調査、埴輪出土の様子、埴輪出土の様子		3										3
56	高山社清温育目的温度及給桑増減表 画像データ				1								1
57	高山社・蚕業学校関係資料 (風呂計測図) T-9-21-1				1								1
58	初代県令楳取素彦造、金銅心葉杏葉、金銅花弁形鈴付雲珠、金銅歩揺付飾金具、銅水瓶、綿貫観音山古墳出土埴輪群像、常設展示 (古代) 展示風景		5		1						1		7
59	綿貫観音山古墳 CG		1										1
60	空襲を予告した「マリアナ通信」				1								1
61	錦絵：上州富岡製糸場、上州富岡製糸場の図、富岡製糸場工女勉強の図 (M6 年のもの)						3						3
62	綿貫観音山古墳出土品画像データ		1										1
63	引札貼付の様子 (雲越仙太郎旧所)								1				1
64	浅間焼吾妻川利根川泥押絵図						1						1
65	綿貫観音山古墳出土品 三人童女・埴輪群像		2										2
66	綿貫観音山古墳出土 盛装男子立像		1										1
67	江戸時代の羽子板								1				1
68	享保雛								1				1
69	鍾馗のぼり								1				1
70	子持勾玉 2 点 (A028-01, G253-1)、柄杓形土製品 1 点 (A028-02)	3										3	
71	楳取素彦肖像写真デジタルデータ				1								1
72	高塚古墳出土 武人埴輪・弓形埴輪		2		2								4
73	人が乗る裸馬		1										1
74	ブルーノ・タウト制作シガレットケース・パウダーケース画像						2						2
75	東矢島廃寺出土瓦	9										9	
76	古代みちーたんけん！～東山道駅路 (2001 年度第 70 回企画展) P8 掲載の駅路復元ルート図 (1) 奈良・平安時代の東山道駅路		1										1
77	桑切り機械、蚕種保存箱、ケバトリ、掃き立て紙 東庵類族関係文書、東庵類族関係口書文書、宗門御改帳			3				4				7	
78	国宝展示室、高崎不動山古墳朝顔形埴輪、伊勢崎市剛士天神山古墳鶏形埴輪、群馬県立歴史博物館外観、伝群馬県出土馬形埴輪		3								2		5
79	国宝展示室										1		1
80	上野国群馬郡前橋利根川鋪嶋河原萬代橋之景						1						1
81	高山社蚕業学校の授業の様子 (普通学校)				1								1
82	婦人倶楽部 (昭和 17 年) の画像				1								1
83	塚廻り古墳出土埴輪 跪く男子		1										1
84	綿貫観音山古墳出土 三人童女		1										1
85	婦人倶楽部 (昭和 17 年) の画像				1								1
86	・諸国温泉功能鑑 1 点 ・將軍御汲上の湯杓 1 点 ・伊香保温泉道中図 1 点 ・伊香保温泉繁栄之図 1 点 ・伊香保温泉石段及び横手館写真 1 点ずつ ・法師温泉写真 1 点 ・水上温泉及び宝川温泉写真 1 点ずつ ・万座温泉写真 1 点 ・上州磯部鉾泉場之略図 1 点 ・上毛老神温泉場旅館桑原専三郎 1 点				12								12
87	・上州草津温泉之全図 1 点 ・上野国碓氷郡上磯辺村与中野谷村就野論裁断之覚 1 点 ・上州磯部鉾泉場之略図 1 点				3								3
88	埴輪三人童女 1 点 甲冑をまとった武人 1 点 両手を腰にあてる振り分け髪の子 1 点		3										3
89	算額 (木暮三右衛門義備・弘化三年) 1 点				1								1
90	連山進空式 映像データ				1								1

No.	資料名称	考古		歴史		美工		民俗		その他		計	
		実物	写真	実物	写真	実物	写真	実物	写真	実物	写真	実物	写真
91	正満コレクション水窪遺跡軒丸瓦1点、銅印「延別録印」1点、吉井町池雑木味軒丸瓦1点、平城宮木簡（複製）「上野国緑野郡小野郷…」1点、松田コレクション五明廃寺・城戸野廃寺・金山窯跡・藤岡市平井村鮎川塔ノ腰・藤岡市平井一式	4										4	
92	八束脛遺跡出土 歯の画像4点、指骨の画像8点 計12点		12										12
93	○重要文化財 上野塚廻り古墳群出土埴輪のうち、1 ひざまづく男 2 左手を挙げる巫女 3 馬形埴輪 4 馬形埴輪 5 杯を片手に捧げ持つ女子 6 椅子に座り帽子をかぶる男 7 大刀形埴輪 ○国宝 群馬県綿に記観音山古墳出土品のうち 8 馬子 9 入母屋造の家形埴輪 10 帽子形埴輪 ○重要文化財群馬県舞台1号墳出土のうち 11 家形埴輪 ○上武士天神山古墳出土 12 鶏形埴輪		12										12
94	足利直義奥上署判下文（暦応二年）、足利尊氏軍勢催促状（観応二年）、足利義詮軍勢催促状（観応元～二年）、足利尊氏軍勢催促状（観応二年か）						4						4
95	主婦の友（昭和17年）写真				1								1
96	跪く男性、椅子に座り杯を捧げる巫女		2										2
97	・埴輪椅子に座る女子（塚廻り3号墳）・埴輪跪く男子（塚廻り4号墳）・埴輪馬（塚廻り4号墳）・埴輪群像（綿に記観音山古墳）・馬具（綿貫観音山古墳）・埴輪女子（石山南古墳）・埴輪馬（石山南古墳）・埴輪人が乗る馬（雷電神社跡古墳）・埴輪鶏（剛土天神山古墳）・円筒埴輪（剛土28号墳）		10										10
98	洞山古墳出土 杏葉		1										1
99	酒飯論絵巻の画像データ						1						1
100	日光御社参御名代御役人附				1								1

（4）資料の掲載許可

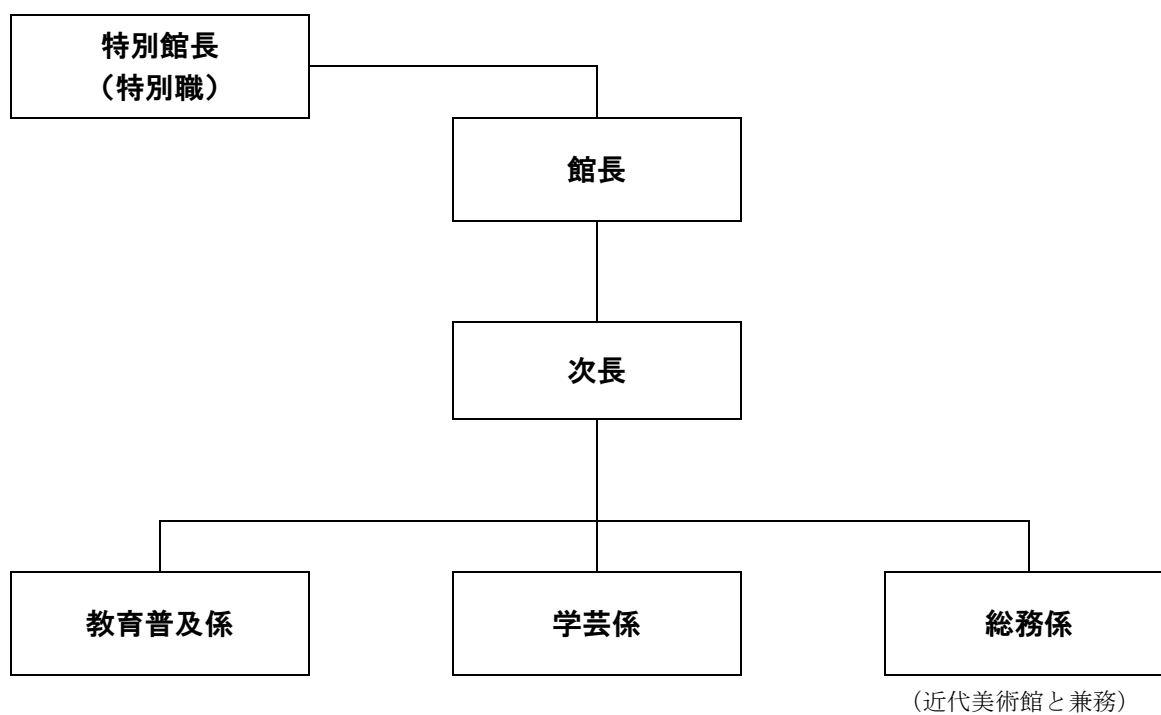
下記の資料31件について掲載許可の申請があり承認した。

No.	資料名称	考古		歴史		美工		民俗		その他		計	
		写真	他	写真	他	写真	他	写真	他	写真	他	写真	他
1	孝願寺所蔵 松平直基画像（写真データ）			1								1	
2	民俗資料 初山参りのうちわ（写真データ）							3				3	
3	民俗資料 七福神絵（写真データ）							7				7	
4	歴史資料 上野国群馬郡前橋利根川鋪嶋河原萬代橋之景 前橋町祭礼行列絵巻 楯取素彦 肖像画			3								3	
5	歴史資料 関家文書「衛生予防心得」 98-0004-2			1								1	
6	民俗資料 ・P270 鋤で作るハナ ・P272 1 ハナ 2 ハナ（藤岡市平井） 3 ハナ（黒保根） ・P273 5 ハナ（藤岡市平井） 6 キハナ・ジュウロクハナ（上野乙父） ・P274 8 ジュウニダンバナ（甘楽町秋畑） ・P277 15 ホダレ（東吾妻町松谷） ・P280 19 キハナ（ツル）20 キハナ（カメ）中之条町大塚 21 ツルハナ中之条町岩本 以上12点									12		12	
7	長楽寺文書 新田義重讃状 花押			1								1	
8	楯取素彦肖像画 画像			1								1	
9	九条家本中右記部類第七 那波成綱花押			1								1	
10	上野国群馬郡前橋利根川鋪嶋河原萬代橋之景			1								1	
11	米軍投下ピラ			1								1	
12	神保植松城ジオラマ（写真）			1								1	
13	上州十二名産「上州蒟蒻」額							1				1	
14	『太平記』写本・冊子装			32								32	
15	国指定重要文化財 長楽寺紙本墨書長楽寺文書 翻刻			7								7	
16	県指定重要文化財 長楽寺紙本墨書永禄日記 翻刻			3								3	
17	浅間焼吾妻川利根川泥押絵図					1						1	
18	綿貫観音山古墳のCG映像		1										1

No.	資料名称	考古		歴史		美工		民俗		その他		計	
		写真	他	写真	他	写真	他	写真	他	写真	他	写真	他
19	高山文書 武田信玄書状（元亀元年）			1								1	
20	山内只八「上州伊香保温泉全景」1915 年刊、1918 年刊						2						2
21	綿貫観音山古墳出土埴輪 三人童女	1										1	
22	上野国群馬郡前橋利根川鋪嶋河原萬代橋之景					1						1	
23	G-歴博なびスマホ画面、AR はにわフォトスポット外観写真、近現代展示室居間の復元展示外観写真、華開く郷土文化展示パネル写真、タッチパネルによる兜の解説展示写真、突起付冑の解説 QR コード写真、日本に旧石器時代はなかった！？4 コマ展示パネル写真、金井東裏遺跡出土（土）人骨顔の復元展示外観写真										8		8
24	伝単（宣伝ビラ）表・裏			2								2	
25	「群馬県の歌 昭和 11 年/1936」歌唱データ、「復興群馬県の歌 昭和 23 年/1948」歌唱データ										2		2
26	木曾海道六拾九次之内高崎						1						1
27	甲を着た古墳人の復顔写真（正面）		1										1
28	千網谷戸遺跡出土 土製耳飾り		1										1
29	堀之下出土石鏃、西新井遺跡出土石鏃、磨製石斧		3										3
30	堀之下出土石鏃、西新井遺跡出土石鏃、磨製石斧、打製石斧		4										4
31	堀之下出土石鏃、西新井遺跡出土石鏃、磨製石斧、打製石斧		4										4

Ⅱ 組織及び運営(令和6年4月1日現在)

1 運営組織



2 歳出・歳入決算概要

(1) 歴史博物館費

単位：千円

事業名	決算額	内 訳			左のうち特定財源	
		事項名	内 容	金額	金額	内 訳
歴史博物館運営	153, 827	会計年度任用職員経費	特別館長、会計年度任用職員人件費	39, 916	206	雇用保険料個人負担分
		館管理運営	施設設備保守、光熱水費他事務経費	113, 911	121	建物使用料
博物展示	34, 221	常設展示	展示制作、写真撮影	6, 729	2, 466	図録販売収入
		企画展示	展示制作、図録作成	27, 492	13, 578	博物館入館料
教育普及活動	3, 526	学校教育連携推進	学校向け展示見学用資料作成、学習プログラム実施	1, 978		
		れきはくアカデミー	一般向け体験学習実施、博物館広報	1, 548		
調査研究	4, 215	資料収集管理	資料収集、収蔵品管理、資料情報システムの運用	2, 183	61	紀要販売収入
		調査研究活動	資料調査、研究紀要作成	1, 468		
		情報システム整備	収蔵資料管理・公開システムの構築	564		
合計	195, 789				16, 432	

群馬県立歴史博物館 年報
第46号（令和6年度版）

令和8年 1月7日発行

発行：群馬県立歴史博物館

〒370-1293 高崎市綿貫町992-1

TEL（027）346-5522

FAX（027）346-5534